

休耕地に関するアンケート調査結果

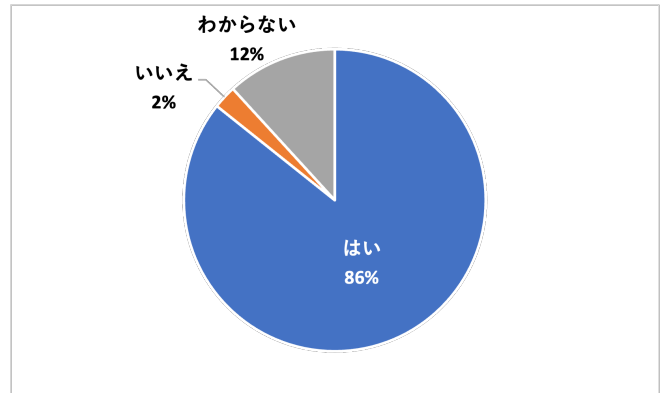
【対象者】

東米良地区在住成年者、地区関係者(親族等)、東米良地区内団体および企業関係者 合計 194名

【前提質問】

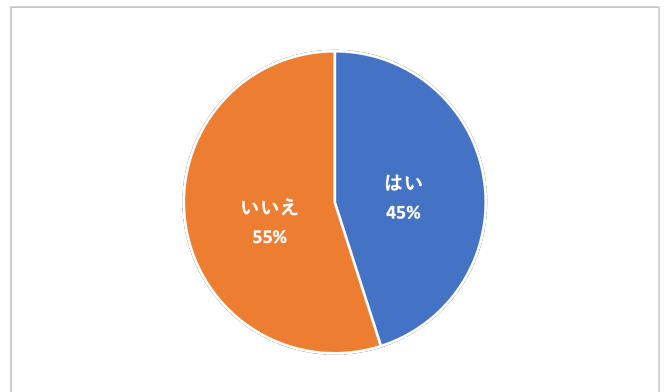
今後、あなたは東米良に少しでも関わることができますか

- はい …… 86%
- いいえ …… 2%
- わからない …… 12%



1) 現在、ご自身の所有(管理)する土地で休耕地がありますか

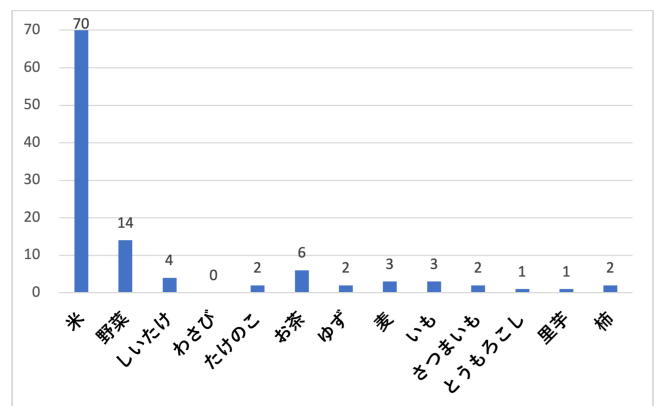
- はい …… 45%
- いいえ …… 55%



■『はい』と回答した理由

2) その休耕地は以前何を耕作していましたか

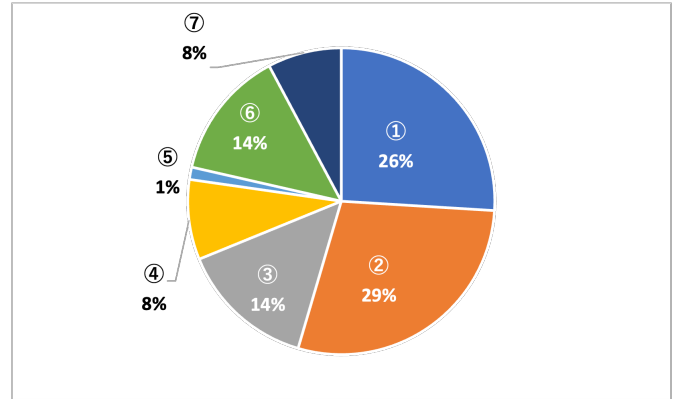
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 米 | …… 63% | 野菜 | …… 13% |
| しいたけ | …… 3% | わさび | …… 0% |
| たけのこ | …… 2% | お茶 | …… 5% |
| ゆず | …… 2% | 麦 | …… 3% |
| いも | …… 3% | さつまいも | …… 2% |
| とうもろこし | …… 1% | 里芋 | …… 1% |
| 柿 | …… 2% | | |



休耕地に関するアンケート調査結果

3) その休耕地を使用しなくなった理由はなんですか（複数回答可）

■ ① 耕作者がいない	・・・ 26%
■ ② 有害十の被害	・・・ 29%
■ ③ 水源の確保ができない	・・・ 14%
■ ④ 再整備に費用がかかる	・・・ 8%
■ ⑤ 台風など被害に頻繁にあう	・・・ 1%
■ ⑥ 後継がない（後継者いない）	・・・ 14%
■ ⑦ その他	・・・ 8%



4) もし、上記の理由が解決したら休耕地の再利用を検討されますか

■ はい	・・・ 39%	■ いいえ	・・・ 61%
------	---------	-------	---------

◆はいと回答した理由

- ・ 作りたいから
- ・ 会社の定年後に検討する
- ・ 自分の家の前に休耕地があることが寂しい
- ・ かじめがよくできたら、ゆず・栗・柿・ふえを植える予定
- ・ キャンプ場として再開発したい
- ・ 自分の食材等を作りたいから
- ・ 山林になるのを防ぎたいから
- ・ 荒れ果てた農地を見たくないから
- ・ せっかく祖先が開いた田畑を荒廃しないため
- ・ 土地を守りたい
- ・ 自分が動けるようになったから
- ・ フェンスを張って椎茸を作りたい etc...

◆いいえと回答した理由

- ・ 再利用できない状況
- ・ 現在作るつもりがない
- ・ 年齢的に厳しい
- ・ 買ったほうが早いから。
- ・ 利益が出ない
- ・ 山になっている
- ・ 地区外のため
- ・ 人に貸している
- ・ 公民館となっている
- ・ 他人に入ってもらいたくないから
- ・ 甥が管理してくれているから
- ・ 体が不自由なため
- ・ 地域を離れている etc...

休耕地に関するアンケート調査結果

5) 東米良地区では1000年続く村を目指し、自給自足できる村を模索しています。

◆ご意見・アイデア

【道路・環境に関すること】

- ・作業道路の整備 ・ガソリンスタンド、コンビニの設置 ・交通機関とか人口増加災害等の管理
- ・国道から地区までの道路の拡張及び整備（人の行き来がしやすく、時短にもなる）
- ・インフラの整備

【職・伝統継承に関すること】

- ・住む家と職 ・労働力の確保の為の農業関連の知識の継承 ・学校、神社（神楽）の継承
- ・働き手の確保 ・色々な分野の仕事を増やす

【人に関すること】

- ・離れて行った人の人材確保、東米良地区内での情報共有、行政協力 ・若者の定住
- ・銀鏡学園出身者に対し、高校以降も管家をもてる仕組みを作る ・若い人を増やす
- ・住んでいる人が最後まで地域で暮らし続けられる仕組み（誕生から最期まで） ・山村留学の継続
- ・人（住民・観光客）が必要 ・若者が定住しやすいよう、仕事の確保、交通の利便性など
- ・近隣市町村と良き関係を保ち協力し合っていないと孤立してしまう ・自助努力あるのみ
- ・若い人のやる気が欲しい ・働く場、産業、住民がまとまる事、森林（山）利用
- ・若い子供連れの家族が参加したくなるイベント開催 ・春夏秋冬にそれぞれ米良ならではのイベント開催
- ・リタイヤ後に実家に帰ってくるような（来たくなるような）対策が必要。Uターンに対する補助金

【土地に関すること】

- ・焼畑の復活をする ・椎茸の共同栽培 ・小さくていいので自分たちの畑があると嬉しいかも。
- ・自給自足は今の時代厳しい ・山や川、谷を利用する ・休耕地の再利用
- ・相互扶助、土地の整理（例え土地を借りたい、買いたい方がいても所有者や土地の区画が確立されておらず、難しい部分があるように思います。そういった方々の仲介等できるサービスがあると東米良で農業したいと思うがいるかもしれないかも。住みたい方も便利かも）
- ・小川作小屋のような施設、温泉（出ればですが） ・ドクダミ（単収がイネ作より多い）栽培産地化
- ・雑穀（ヒエ・アワ・そば）栽培
- ・生しいたけ、販売してほしい ・田畑が山に囲まれていると日照不足だったり、鳥獣の被害にあったりして思うように作物が収穫できない
- ・手ってして高さのある柵を建てるなどすれば、農作物の被害が無くて済む
- ・休耕地を区分けして貸出。花、野菜等々を作り育てる喜びを味わってもらおう（収穫祭において、披露会で食す）

【今あるものの活用に関すること】

- ・杉林を利用したジップライン ・川を利用した河川プール ・特徴ある産業を起こす ・ダムを活用
- ・癒しを求める地を目指すことが重要

【その他】

- ・住民の意見や考えたアイデアをすぐにシェアできたらいいな
- ・もし可能なら国道沿いに集合住宅があるといい
- ・インスタグラム等でアップしてくれるような映えるスポットや品物など

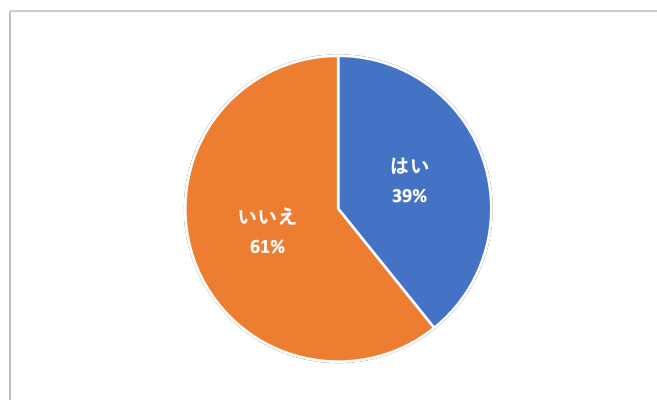
休耕地に関するアンケート調査結果

6) 休耕地以外でも新しい作物や産業になりそうな地域資源があるなら教えてください。

- ・たけのこ ・わさび ・ゆず ・椎茸 ・こんにゃく ・そば ・山野草 ・蜂蜜 ・水
- ・ホオズキ ・ほうれん草 ・お茶 ・ジビエ ・ミョウガ ・カンタロウミミズの販売
- ・ブルーベリー ・レモン ・生野菜 どくだみ栽培 ・モロヘイヤ ・里芋 ・さつまいも
- ・自然薯 ・ハーブの栽培 ・めんま作成 ・小豆 ・大豆 ・米 ・チョウザメ
- ・登山道の整備 ・河川プールの整備 ・林道の活用 ・節理岩などの観光資源
- ・山を活かしたアクティビティ（公園・ドックラン）や川を利用したアクティビティ（ダム観光等）
- ・竹林 ・雑林
- ・空き家を利用したカフェや郷土料理の提供 ・体験活動 ・リフォーム ・箸

7) 各集落ごとで地図を用いた地域資源活用の検討をします。検討会に参加していただけますか

- はい …… 39%
- いいえ …… 61%



8) その他

- ・せっかくの国号 219 号も整備され、妻、佐土原で働く人の為に国道沿いに集合住宅が有ると休日の農作業する人が多くなるのではないだろうか。
- ・山村と町を結ぶ道路整備の拡充を進めていただくと人の行き来ができるのでは。しかし過疎化が進み働けない高齢者が増えてしまうのは避けられない。
- ・東米良柚子生産者でも後継者不足及び高齢者による作業が困難になり収穫の減少傾向に成りつつある。柚子経営を存続するには矩形者募集をして人員の確保が必要と思われる。
- ・宮崎市内に一番近い癒しの場所を目指す。高千穂、エビの、霧島に負けたいと思う。
- ・西都原からの観光客を山に誘致する案を考えたい
- ・家を建てようとしているが土地がない。休耕地を住宅地に変えることができると助かる。今後人を呼び込むに当たって土地がないのは問題だと思う

休耕地に関するアンケート調査結果

8) その他 (続き)

- ・色々な考えや、やりたい事をみんなそれぞれあると思います。今の現状は、数年前よりすごく良くなりました。しかしながらこれからを担う若手の声が届いていないと感じるところがあります。また、若手の意見を軽んじる方たちもいらっしゃるようにも感じます。世代を問わず、何でも何でも話し合える場が必要ではないか、そんな関係性が必要ではないかと思います。
- ・会になかなか参加できない人でも、その場の会の様子がリアルタイムで見れるといいかも。人伝で聞くのと、直接聞くのではニュアンスが違う場合があるので
- ・今の東米良地区の自力では1000年は続きません。少子高齢化が進んでいくのが目に見えています。外部からのつからが必要。誘致はどうでしょうか。工場等があってもいいと思います。外部からの人口増加、地元の人々の職業安定。私たちが見ることのできない50年、100年、200年先の東米良、銀鏡の事を考えて農村だけではなく、視野を広げてはいかがでしょうか。
- ・困橋は老朽化し、大型車が通行できず奥にある材が出せない
- ・人任せの人が多い 自分も一緒にしようと思わない
- ・災害に強い村づくり
- ・これから続く銀鏡ですが、強みやはずっと続けられている伝統があると思います。伝統や歴史となえい、これからも引き繋いで頂きたいです。どうすれば永続できるかを考えると、やはりこれからは新たなものも取り入れなくては大変なような気がします。伝統は継がれながらもさらに銀鏡の良さを知って頂くために何か手立てを・・・瀬戸内国際芸術祭は、街をあげての町アートで成功していると思います。銀鏡の素晴らしさを理解して下さる分野の方々に打診するのも一案として挙げさせていただきます。話がまとまらず、すみません
- ・山の檜の木を利用してマキ・炭を送る
- ・女性が主体となって働ける農業を模索中です。施設園芸とか？
- ・梅の木を育てたら良いのではないかと、花の季節は花を見、身は青梅で取り時季を過ぎれば、ワインにでもなる。梅の木は少々木の下になっても枯れない。切り開ければ又、元気を出して成長する果樹の中でも最も有望ではないかと思われる。
- ・なんととっても、90歳に近い女が一人暮らしでは、淋しいけど何も望めません
- ・県道・市道沿いの空き地に草花、花木等の観葉植物を植栽する
- ・ヤマザクラ・イロハモミジ、ツツジ、フジなどの植栽(無象植物)木の配布
- ・ジビエ料理を野外で。野外施設(丸太作り、天然木、自然石の利用)
- ・バードウォッチングコースを作る
- ・春夏秋冬の東米良でできた野菜が安く買えたらいいなと思います。
- ・道路に電灯があると夜の車の運転がしやすいです
- ・東米良創生会の凄さを地域住民が知らない、理解していない
- ・山林等の相続に悩んでいます。娘しかいないので管理等もできない
- ・80歳を過ぎていたので検討会等には出席できない
- ・子供達も山林等はいらないので誰か買ってくれる人がいれば売りたい
- ・後継者はいるが、山林等はいらないという。今後いい方法がないか